

事業概要シート

施策	0305	ミライ○nの充実	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	図書館管理運営事業		現状維持	予算額	95,963 千円
事業期間	～			≪≫	88,613 千円
根拠法令 要綱等	図書館法、大村市立図書館条例、大村市図書館 条例施行規則		財 源 内 訳	国庫支出金	千円
				県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	655 千円
				一般財源	95,308 千円

【事業の目的・概要・対象】

ミライ○n図書館の利用者に対する従来の図書館サービスの充実を図りながら、市民の「知の拠点」、「出逢いの広場」となる図書館運営を行います。

(1) 読書活動の推進

- ① 約137万冊の蔵書や電子書籍サービスなど、様々な図書資料等の貸出・閲覧
- ② 大活字本など読書バリアフリー図書の収集、提供

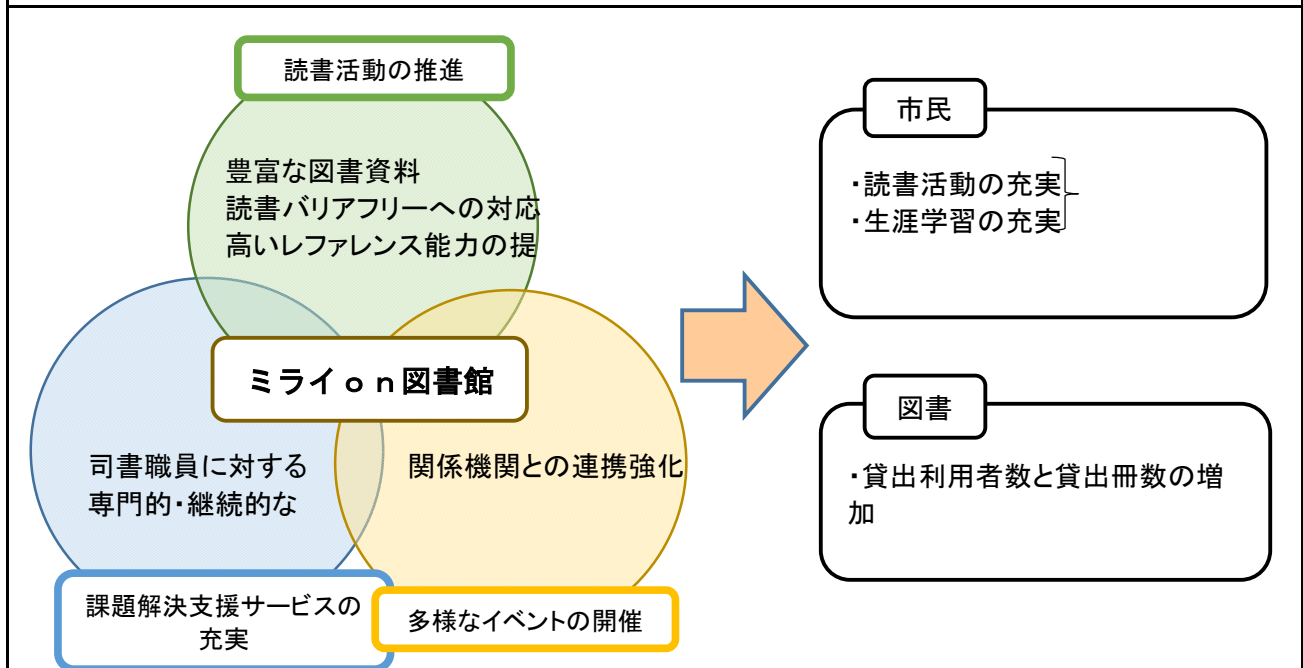
(2) 課題解決支援サービスの提供（職員のスキル向上＝レファレンス能力向上）

情報（図書資料）の提供だけではなく、各分野の専門機関・行政機関と連携し、講座や講演会を計画的に実施することで、市民の生活や仕事に役立つ情報を積極的に図書館から発信、提供します。

- ① ビジネス・産業支援サービス ② 産業支援サービス ③ 医療・健康情報サービス ④ 子育て支援サービス
- ⑤ 行政情報支援サービス

(3) 多目的ホール、研修室等を活用した様々なイベント、講座等の開催

- ① ボランティアを活用したイベントの定期的な開催
- ② 多目的ホールや研修室を活用した講座等の開催で、幅広い年代の市民へ生涯教育の場を提供



【背景】

令和元年10月5日にグランドオープンしたミライ○n図書館は、高知県・高知市について全国2番目の県立・市立一体型図書館となった。

JR大村駅の側という立地条件に加え、九州最大規模の図書収蔵能力（約202万冊）、約200台の駐車場、大村市歴史資料館やカフェなども併設され、「知の拠点」「出逢いの広場」として、年間40万人の来館者数を狙っている。

担当課	教育委員会 図書館	課長	堀江 史佳
担当者	朝長 圭子	問合せ先	0957-48-7700

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	開館日数	計画値	日	286	284	287	287	287
②	主催、共済、連携イベント等の開催数 (定例イベントは除く)	計画値	回	45	50	50	50	50

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	貸出冊数	計画値	冊	757, 266	817, 950	835, 170	858, 330	872, 640
②	ミライ o n 図書館来館者数	計画値	人	378, 853	400, 000	400, 000	400, 000	400, 000

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	74, 180	72, 459	88, 613	95, 963	95, 963	95, 963	523, 141
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	175	102	432	655	655	655	2, 674
一般財源	74, 005	72, 357	88, 181	95, 308	95, 308	95, 308	520, 467
人件費	47, 006	43, 788	45, 532	46, 115	46, 115	46, 115	274, 671
職員(人)	6. 20人	6. 20人	6. 00人	6. 00人	6. 00人	6. 00人	36. 40人
時間外勤務(h)	862h	80h	950h	950h	950h	950h	4742h
会計年度任用職員(人)	0. 00人	0. 00人	0. 00人	0. 00人	0. 00人	0. 00人	0. 00人
フルコスト	121, 186	116, 247	134, 145	142, 078	142, 078	142, 078	797, 812

妥当性 (市の関与)	市立図書館の運営であり、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	良質な図書サービスの提供や様々なイベント開催により多くの来館者が訪れることは、ミライ o n 図書館の充実を図る取組として有効であり、施策の推進に貢献するものである。
効率性 (コスト)	ミライ o n 図書館は県立、市立図書館が連携・共同で運営するため、それぞれの役割を明確にしながらも、それぞれが応分の財政的・人的負担を負わねばならない。 今後、開館後の運営状況を把握・分析し、図書館サービスの一部業務委託化など、改善を検討する余地がある。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり